

南あわじ市

第2号

平成17年5月15日発行

議会だより



△ 素人浄るり全国大会（H17.3.26～27：賀集公民館）南淡中学郷土芸能部

主な内容

17年度暫定予算（4月～6月）可決 第2回 定例会……………2	人事案件……………7
討 論……………3	市政を問う 一般質問……………7～15
委員会審査報告……………4～6	市民の声……………16

編集／南あわじ市議会広報広聴特別委員会

発行／南あわじ市議会 〒656-0472 南あわじ市市善光寺18-27 TEL.0799-43-5005 FAX.0799-43-5105

URL <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp> E-mail: gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp

第2回 定例会

第2回 南あわじ市定例会

第二回定例会は、三月九日から三十日までの二十二日間の会期で開かれ、平成十七年度一般会計暫定予算、国民健康保険特別会計暫定予算ほか十九特別会計暫定予算等が提案されました。条例制定十五件、工事請負契約、一般会計暫定予算、特別会計暫定予算等は、それぞれの常任委員会に付託し、慎重に審査を行い、全て原案のとおり可決されました。

即決議案

- ◇南あわじ市特別会計条例の一部を改正する条例制定
- ◇淡路公平委員会設置に関する規約の変更
- ◇淡路教育事務協議会設置に関する規約の変更
- ◇松帆古津路団地公営住宅新築工事請負契約の変更
- ◇志知地区農業集落排水処理施設土木・建築工事請負変更契約
- ◇特定環境保全公共下水道事業管渠布設工事(賀集七号)請負変更契約の締結
- ◇三原町特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結
- ◇特定環境保全公共下水道

事業管渠布設工事(福良四号)請負変更契約の締結
 ◇特定環境保全公共下水道事業管渠布設工事(賀集五号)請負変更契約の締結
 ◇特定環境保全公共下水道事業管渠布設工事(賀集六号)請負変更契約の締結
 ◇特定環境保全公共下水道事業管渠布設工事(賀集六号)請負変更契約の締結
 ◇特定環境保全公共下水道事業管渠布設工事(賀集六号)請負変更契約の締結

「議員倫理条例制定」特別委員会設置

設置の目的
 市政が市民の厳粛な信託によるものであることを認識し、その信託に応えるため、市議会議員の政治倫理に関する規律の基本となる事項を条文で定めることにより、市民全体の奉仕者として政治倫理の確立と向上に努め、誠実かつ公正にその職務を行い、清浄で民主的な市政の発展に寄与するための調査研究を行うことを目的とする。

平成17年度 一般会計暫定予算

●歳入 (単位:千円)	
項目	予算額
1. 市税	2,078,878
2. 地方譲与税	106,601
8. 地方特例交付金	82,045
9. 地方交付税	2,900,000
11. 分担金及び負担金	1,944
12. 使用料及び手数料	182,961
17. 繰入金	6,071
18. 繰越金	50,000
19. 諸収入	6,500
合計	5,415,000

●歳出	
項目	予算額
1. 議会費	106,383
2. 総務費	885,857
3. 民生費	1,392,866
4. 衛生費	674,147
5. 労働費	1,030
6. 農林水産業費	296,375
7. 商工費	99,790
8. 土木費	443,642
9. 消防費	365,242
10. 教育費	747,632
11. 災害復旧費	70,023
12. 公債費	312,013
13. 予備費	20,000
合計	5,415,000

平成17年度 特別会計暫定予算

項目	(単位:千円)	
	歳入	歳出
1. 国民健康保険特別会計	1,440,158	1,440,158
うち事業勘定	1,403,224	1,403,224
うち診療所勘定	36,934	36,934
2. 老人保健特別会計	1,446,834	1,446,834
3. 介護保険特別会計	1,010,455	1,010,455
うち事業勘定	833,176	833,176
うちサービス事業勘定	177,279	177,279
4. 訪問看護事業特別会計	18,491	18,491
5. 公共下水道事業特別会計	273,507	273,507
6. 農業集落排水事業特別会計	26,909	26,909
7. 漁業集落排水事業特別会計	32,012	32,012
8. サイクリングターミナル事業特別会計	21,785	21,785
9. 慶野松原海水浴場特別会計	215	215
10. 土地開発事業特別会計	26,001	26,001
うち企業団地開発事業勘定	841	841
うち住宅団地開発事業勘定	25,160	25,160
11. 産業廃棄物最終処分事業特別会計	9,965	9,965
12. ケーブルテレビ事業特別会計	63,769	63,769
13. 公共用地先行取得特別会計	119,561	119,561
14. 水道事業会計	473,493	352,576
15. 農業共済事業会計	122,508	151,186
16. 国民宿舎事業会計	102,765	111,934
17. 広田財産区管理会特別会計	213	213
18. 福良財産区管理会特別会計	4,552	4,552
19. 北阿万財産区管理会特別会計	287	287
20. 沼島財産区管理会特別会計	287	287
合計	5,193,767	5,110,697

*公営企業会計(水道・農業共済・国民宿舎)については、収益的収入及び支出のみ計上しています。

南あわじ市 議会議員倫理条例に関する調査特別委員

委員長 中村 三千雄

副委員長 赤松 照美

委員 長船 茂久
 阿部 井馬 久次
 乙寺 榎本 一子
 吉田 内原 利子
 矢三 楠川 賀代
 三原 上船 和子
 川長 池田 吉博
 松尾 尾 進
 巖 巖

討 論

一般会計暫定予算

反対 吉田 孝子 議員

住民税均等割りが三千元に引き上げられ、配偶者特別控除等の廃止により増税になること、合併で立場の弱い人に負担がいくことはあつてはいけないことです。しかし、介護保険で低所得者の利用料の負担引き上げ、保育料で同時入所の場合、所得の低い人への負担が軽くなるような施策が行われないこと。

回収した旧町のごみ袋の再利用について、再度販売するようにならなかったこと。

乳がん検診でマンモグラフィを導入したことは評価できますが、対象年齢の引き下げ、検診料の引き下げを行うべきであったこと。

至急に防災マップの作成を急ぐべきことなど問題点を指摘します。

賛成 菅 歳美 議員

平成十七年度南あわじ市一般会計暫定予算は、四月からの三ヶ月の予算でございます。義務的経費を中心とした最小必要限の経費と消防防災の整備・災害復旧関連経費・補助採択事業経費・負担金補助金関係で実施が決定しており、本予算までに交付決定の必要あるいは各種団体等の運営上必要な事案について予算計上されております。

普通建設事業等投資的経費及び政策的経費については、原則計上されておりませんが、先般の一般質問で特に、保育所・幼稚園の同時入所の第二子無料化、またコミュニティバスの充実等の答弁をいただいております。六月の本予算に大きな期待をいたしまして賛成討論といたします。

国民健康保険特別会計暫定予算

反対 長船 茂久 議員

市民の健康と生命を守る、国保税が合併後、高くなるのか、低くなるのか五万五千市民が一番注目していた予算です。

残念なことに旧緑・南淡の方々の料金が高くなり、旧三原・西淡が低くなる料金の決め方は、市民感情を分断する事になり、旧緑・南淡の方々が平成十六年度納税していた額まで引き下げるべきだ。

また、保険税を引き上げる事で滞納者が増加し、資格証明者が多くなり、資格証明者は、年間〇・九回しか病院での受診、これでは市民の生命を守ることはできません。

賛成 楠 和廣 議員

平成十七年度南あわじ市国民健康保険特別会計暫定予算については、保険事業勘定の歳入歳出暫定予算の総額を十四億三百二十二万四千元。直営診療所勘定の歳入歳出暫定予算の総額を三千六百九十三万四千元とするものでございます。

介護保険特別会計暫定予算

反対 長船 茂久 議員

介護保険制度は、五年ごとに改正され、本年が改正の年です。

改正は、介護三施設にホテルコストや給食費を廃止し、入所者に年間約四十万円も負担増を、また介護度の低い方々を施設から追出す改正です。

南あわじ市も、国の悪政から市民を守る立場を捨て、国保税と同じように、旧緑・南淡の方々の介護保険料を引き上げ、旧西淡・三原を引き上げています。これでは、旧両町の市民は許すことはできません。国保税・介護料金の引き下げの財源は十分あります。

暫定予算であり、四月から六月までの三ヶ月分の予算です。保険税率改正は六月の所得確定に基づき算定するということであり、当予算では昨年度税率での算

定ですが、これはやむを得ないものと考えます。

南あわじ市民の健康保持増進と、良質な安定した医療給付サービスを提供するために必要な予算であり、妥当なものと考え賛成いたします。

賛成 三原智代子 議員

平成十七年度南あわじ市介護保険特別会計暫定予算については、保険事業勘定の歳入歳出暫定予算の総額を八億三千三百七十七万六千円。介護サービス事業勘定の歳入歳出暫定予算の総額を一億七千七百二十七万九千円と定めるものでございます。

暫定予算であり、四月から六月までの三ヶ月分の予算であります。南あわじ市の介護保険料基準額は、適切な算定方法で設定されており、保険料収入が見込まれており、南あわじ市介護保険事業計画に基づく、市民のために必要な保健給付を行うための妥当な予算であると考える賛成いたします。

平成十六年度南あわじ市一般会計予算

問 三位一体の改革で交付税等の減額されるが、新市への影響はまた、財政計画は。

答 全体で約六億五千万円程度減額になる。今後、健全な財政を保つため作成する。

問 六月の本予算において、固定収入、税収が支出の何%程度か。

答 約二十ないし二十三%程度。

問 島外の通勤通学補助対象者は。

答 通勤七名、通学三十五名。

問 住宅用太陽光発電システム補助の件数及び広報について。

答 十六年度見込み約六十件、市広報及びホームページで知らせている。

問 小学校等耐震診断の今後の計画について。

答 新基準に合わせ、新市で耐震工事をしなければならぬ、小中学校で十四棟を整備しなければならぬ、大規模改修とあわせると約三十億円になる。

平成十六年度南あわじ市ケーブルテレビ事業特別会計予算

問 合併後五年ぐらいで緑・南淡に実施計画があるが、いつごろか。

答 市民からの問合せもあり、早急に補助金等の検討を行う。

平成十六年度南あわじ市公共用地先行取得特別会計予算

問 旧南淡町の購入単価が非常に高いと思われるが、価格の基準は。

答 鑑定士の報告を受けて、助役、事業担当課長、税務課長等での審査会を開き鑑定結果以内で価格を決めている。

平成十六年度南あわじ市広田財産区管理会特別会計予算

問 財産区の性質、形態、委員報酬は。

答 地方自治法にある、特別地方公共団体に属し、新たに財産を持たない。財産区の経費で賄っている。

平成十六年度南あわじ市福良財産区管理会特別会計予算

問 一般会計より繰り入れをしているが、また補助金を出しているが。

答 財産区有の土地貸付代で一旦市に入り財産区へ繰り入れている。補助金については、財産区で生じたお金を地区民に補助している。

平成十七年度南あわじ市一般会計暫定予算

歳入では

問 タバコ税九千三百八十五万円は国から一括で入るのか。

答 毎月歳入される。

歳出では

問 合併で公共料金が増加しているが。

答 下げるのが理想であるが、財政状況もあり、出来るだけ現状維持を考えている。

問 風力発電ホームページ修正委託料と第三セクターなので赤字分は市が補てんするのか。

答 市へのホームページ修正委託料、赤字になっても契約で市が補てんしないようになっている。

問 消防団員数五年で二十%削減となっているが。

答 合併協議で二千二百二十六人を一千七百八十人としているが、しばらくは削減しない。

問 消防署を南あわじ市管内にもう一ヶ所増やせないか。

答 淡路全体のバランス調整をし、今後南淡分署が署に格上げ予定。

問 保育料第二子無料化について予算措置及び人数は。

答 予算措置は無し、二百十一名の対象者がいる。

問 ゴミ収集事業で入札により委託、随意契約や直営と統一されていないが。

答 時間をかけて検討する。

問 海づり公園は何人で採算が取れるのか、また回数券の発行は。

答 年間約二万人、新市になつてから回数券の発行をしている、十回で十一回分。

問 軽自動車、普通自動車など含め三百五十六台。

答 今後すみやかに、専門家も含め総合的なIT基盤について六月本予算に計上できるように検討する。

平成十七年度南あわじ市ケーブルテレビ事業特別会計暫定予算

問 ケーブルテレビ整備について、検討委員会の設置はいつ頃か、専門家も含むのか。

答 今後すみやかに、専門家も含め総合的なIT基盤について六月本予算に計上できるように検討する。

平成十六年度南あわじ市国民健康保険特別会計予算

問 高額医療費の申請、行政からの口座振込み、資格証明の発行数はどうなっているか。

答 高額医療費は担当課が案内している。口座振込みは今後対応したい。資格証明は百四十九件、短期は二百五件である。

平成十六年度南あわじ市介護保険特別会計予算

問 介護保険サービス適正実施調査委員会が調査しているのか。また、適正に実施されているか指導できる委員をお願いする。

答 現在は委員会が無いが十七年度予算に計上する。

南あわじ市リサイクルセンター条例制定

問 施設の運営はシルバー人材センターか、業者が直接行っているのか。

答 旧緑町・三原町はシルバーで、旧西淡町・南淡町は臨時職員で対応している。

問 公の施設の指定管理者制度を使うのか。

答 今後の運営については検討したい。

問 緑リサイクルセンターの借地料はいくらか。

答 年五十万円である。

問 家庭ゴミは分別が出来ているか。

答 出来ていると思う。分別の種類を増やしていきたい。

南あわじ市介護保険条例制定

問 保険料が旧緑町・南淡町は上がる。一般会計より繰り入れし平均にできないか。

答 一般会計からの繰り入れはしないように、との指導がある。

問 地域福祉基金は取り崩せないか。

答 考えていない。

問 介護認定がされるまでの期間はどれくらいか。

答 約一ヵ月をめどに対応

している。急な場合、特別で先にサービスを受けて、後から認定される場合もある。

南あわじ市入学祝い金支給条例制定

問 一律にすると予算はいくらか。

答 小中新生一年生で一千五百万円になる。

問 少子化対策も含んでいるのか。

答 その施策の一環として考えている

南あわじ市吹上浜野外教育センター条例の一部を改正する条例制定

問 大幅な値上げで、施設の改善はあるのか。

答 今後検討する。

問 運営人数等はどうかしているか。

答 吹上町内会にお願いしている。管理責任者と他の一名の二名である。

問 料金を上げた場合、利用者があるか。

答 既にこの料金で行われている。平成十六年度で一千六百六十五名、十五年度で二千百三十二名である。

問 維持管理経費はどうしているか。

答 基本的に収入で行っている。

南あわじ市スポーツ振興審議会条例

問 旧四町あったのか。

答 旧南淡町のみ。

問 スポーツ振興に理解のある方を選んでほしい。旧四町で配分する方が良いと思うがどうか。



答 旧四町及び専門家も含めて検討したい。

平成十七年度南あわじ市国民健康保険特別会計暫定予算

問 国保の調整で応益応能の割合はどうなっているか。

答 六月の本算定で五十対五十で行いたい。

問 国保税のばらつきをなくすため、特別交付税で調整できないか。

答 可能であると思われるが、市長が判断する。

平成十六年度南あわじ市下水道事業特別会計予算

要旨 公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水の下水道三事業併せて、今後の予算を百四十三億九千四百四十五万一千円と定めるものであります。

問 下水道事業は、将来的に多くの起債を残すことになるので、合併浄化槽を組み入れていけないのか。
答 認可を受けている処理区域内ではできない。

問 処理場施設の設備の基準はどのようになっていくのか。
答 リン、チツソを除くための高度な処理が行えるものとしている。

平成十六年度南あわじ市土地開発事業特別会計予算

要旨 合併後の企業団地開発事業予算を二千六百三十一万八千円、住宅開発事業予算を一億七百七十二万三千円と定めるものであります。

問 企業団地の未処分地の面積はどの程度あるのか。

答 八区画七、一軒あります。

平成十六年度南あわじ市水道会計予算

問 本土導水による原水の受け入れをしているが、地元受水を増やせないのか。
答 本土導水は契約水量があり、使わなくても受水費を支払わなければならないので、責任水量を超えない分は出来る限り地元調達したい。

南あわじ市沼島ターミナルセンター条例の一部を改正する条例制定

要旨 灘ターミナルセンターの新設に伴い条例の題名及び管理について一部を改正し沼島、灘両センターの運営について定めるものです。

問 使用料の設定があるが営利目的の業者が入るのか。
答 業者の募集は考えていない。また公園については利用業者が入るケースが考えられるので設定している。

南あわじ市都市計画審議会条例の制定

要旨 都市計画法に基づき審議会を設置するものです。

問 委員の選任方法は。
答 委員十五名の選任は旧四町の中から選任できるようにしたい。
問 発足はいつ頃を予定か。
答 議会承認後早急に行いたい。

平成十七年度南あわじ市公共下水道事業特別会計暫定予算

要旨 平成十七年度四月から六月までの暫定予算を二億七千三百五十万七千円と定めるものであります。

問 工事費予算の計上が無いのはなぜか。
答 十六年度の繰越分の工事予定はあるが、十七年度事業として、四月から六月は予定がないためです。

平成十七年度南あわじ市漁業集落排水事業特別会計暫定予算

要旨 平成十七年度四月から六月暫定予算を三千二百一十二万二千円と定めるものであります。

あります。

問 受益者の加入率が低いのはなぜか。
答 昨年供用開始のところがあるためです。

平成十七年度南あわじ市サイクリングターミナル事業特別会計暫定予算

要旨 平成十七年度四月から六月暫定予算を二千七百十八万五千円と定めるものです。

問 食堂の委託について業者の入札を行っているのか。
答 発足時より一つの業者で継続している。

平成十七年度南あわじ市水道事業特別会計暫定予算

問 地上式メーターの普及状況はどのようになっていくか。
答 旧三原町はほとんど設置済み、あとの旧三町は三分の二程度であります。

平成十七年度南あわじ市農業共済事業会計暫定予算

問 共済事業の運営委員の選任はどのようになっているか。
答 委員は十四名で行政が推薦している。今後は各分野から選任をしていきたい。

コミュニティプラント整備事業庄田浄化センター請負契約の締結について

要旨 庄田地区における一般廃棄物処理施設整備計画による土木建築工事及び機械電気工事を四億九千六百六十五万円で請負契約するものです。

問 この事業の計画区域の面積は。
答 二十畝です。

問 指名業者の選定方法は。
答 管財課で原案を作成し入札審査会で決めている。

問 機械電気工事については指名業者が島外のみであるのはなぜか。
答 島内には、プラントメーカーが無いためです。

人事案件

(敬称略)

◎助役の選任同意

川野四朗(福良)に同意

◎収入役の選任同意

長江和幸(松帆)に同意

◎監査委員の選任同意

仲田武明(市)・菅 歳美(湊) 以上二名に同意

◎教育委員会委員の任命同意

山本裕之(中条)・曾根茂樹(湊)・塚本圭右(八木)・安田啓一(北阿万)・森武美(福良) 以上五名に同意

◎固定資産評価審査委員の選任同意

奥田 功(山添)・津村稔(福良)・里深 亘(榎列)・辻 明(湊) 以上四名に同意

◎福良財産区管理委員会員の選任同意

坂本秀雄(福良)に同意

◎南あわじ市・洲本市小中学校組合議会議員の選任同意

小林重明(広田)・木曾弘美(倭文)・大本幸二(広田)・小嶋節士(広田)・木戸秀行(広田) 以上五名に同意

◎洲本市・南あわじ市山林事務組合議会議員の選任同意

木村志津馬(山添)・山崎政秋(広田)・鯉森才治郎(広田)・不動又夫(広田)・不動茂木(広田)・長尾治(中条)・井實和正(中

条) 以上七名に同意
◎人権擁護委員候補者の推薦

片山圭子(倭文) 適任と認める

◎選挙管理委員及び同補充員の選挙

選挙管理委員当選者

野上昭式(中条)・馬部武(松帆)・宮地恒雄(八木)・岡本敬子(阿万)

選挙管理委員補充員当選者
木下弘彦(湊)・山田泰生(倭文)・平野利次(福良)・眞野輝夫(榎列)

第3回 南あわじ市議会定例会日程のお知らせ

本 会 議	第1日目	6月3日(金)	施政方針・新年度予算の説明質疑ほか
	第2日目	6月6日(月)	新年度予算の質疑ほか
	第3日目	6月7日(火)	一 般 質 問
	第4日目	6月8日(水)	
	第5日目	6月9日(木)	
	第6日目	6月10日(金)	
	第7日目	6月20日(月)	追加議案の上程・質疑ほか
	第8日目	6月29日(水)	各常任委員会審査報告・表決

委 員 会	総務常任委員会	6月22日(水)	
	文教厚生常任委員会	6月24日(金)	付託議案の審査
	産業建設常任委員会	6月23日(木)	
	決算審査特別委員会	6月3日に設置予定	平成16年度旧町及び郡広域公営企業法適用による特別会計
	予算審査特別委員会	6月6日に設置予定	平成17年度予算の審査

※本会議・委員会は午前10時より開催されます。
※本会議の傍聴にお越し下さい。16ページにも傍聴出来る施設を掲載しています。

市政を問う

一般質問



旧三原町
ヤミ退職金!

島田 貞洋 議員

問 町政功労者記念品料と退職記念品料として誰に幾ら支払ったか? **答** 退職する二人の特別職に合わせて五百八十九万九千円と三人の一般職に合わせて三百六十四万九千円を支給した。氏名等は公表できない。
問 地方自治法第二〇四条の二で「いかなる給与その他の給付も法律又は法律に基く条例に基かずには支給出来ない」と厳しく規定されており、市町長会等でこの種の給付は問題ありと指摘されていたにもかかわらず、違法な内部規定により貴重な血税から支給したこの二つの法外な記念品料は最高裁の判例から見ても違法なヤミ退職金であるといわざるを得ない。
そして、財産はすべて新市に持ち込むとした合併基本項目に基く精算金が減少し南あわじ市に損害を与えた。
また、地位を利用した金品の授受を禁じた三原町政治倫理条例にも抵触するのではないかと?
答 その規定制定の過程は知らないが、町政に功労のあった方や、永年勤められた方への表彰であり、今まで通り支給した。
問 市長は支給を受けたか? **答** 私は受け取っていない。
問 該当する特別職は二人しか居ないのに市長は受け取っていないという、どうしても納得できない。
後日いろいろな機会でもこの記念品料に関する「支出負担行為書兼支出決定書」の提出を求めます。



沖 弘行 議員

ヤミ退職金に多額な税金投入

問 三原町政功労者表彰規程は、法律に基づいていない。受賞したのは二名か？

答 うち、一名が私と言いたいのか。

答 十六年度については二名の方です。

答 助役と私に支出したが私は拒否した。

答 町政功労者表彰記念品料は二名に五百八十九万六千三百二十七円支払いました。

問 二名は誰と誰か。

答 助役と私だが、私は受け取っていない。

問 市長はそう言うが、中田町長等が印鑑を押し、支出を決めた黒塗りの書類が二枚ある。領収書欄の一枚の日付は平成十七年一月六日、もう一枚は一月七日になっている。

答 功労者表彰規程は中田町長誕生で、支出が五倍強に増えた。長年多額な税金がヤミ退職金に支給され、全国に例を見ない違法支出だ。

答 中身の精査をしていない。

問 法律に違反と報道された、抗議したか？

答 監査請求の結果を見て対応、判断する。

問 最高裁は純粋に記念の品、例えば、手拭、盃、煙草盆のようなものは問うところではないが、高額となり実質的に報酬又は退職手当に相当すると認められる金品は地方自治法第二百四条の二に抵触すると判決。公共団体が所有する金品を不法に使ったと思うか？

答 私自身は、不法に使ったと思わない。

問 希望に燃えた南あわじ市の舵取りが、法に照らし不法と思えることに対する答弁であり残念です。市民も同じ思いでないか。



阿部 計一 議員

退職記念品料及び町政功労者記念品料について

問 旧三原町退職記念品料及び町政功労者記念品料について伺う。

答 市長は、財団法人兵庫県町村互助会副理事長の要職をされ、この問題について鋭意検討されて、町職員の退職金についての適正化を長年是正する立場にあられました。にもかかわらず、旧三原町では、あなたを筆頭に町三役をはじめ、二十年以上勤務の町職員、二期八年以上の町議会議員の退職時に多額の税金一〇〇%を退職記念品料なり、町政功労者表彰記念品料と称して長年にわたり支給してきた。

問 これは、全国どこの自治体にも類はなく、地方自治及び地方公務員法違反であります。また、あなたは、町議会議長、町長を勤められた、いわば地方行政のプロであります。その点においても今回の責任は重大であると思えます。あなたの行政責任、また南あわじ市民に対する道義的責任をどのようにとられるのか答弁を願います。

答 私は、旧三原町の中にありまして、先輩諸氏が一生懸命三原町づくりに取り組んでこられたそういう意味合いを持つての退職の関係なり、また功労者の関係であるという意識のもとにその執行をしてきたところでございます。ただ、この規定そのものが違法であるかどうかというところが一つの焦点でなからうかなど。ただしそういうものが完全に違法であるかどうか、ここらも私自身もまだ十分調査しておりませんし、その辺も合わせて今、住民監査請求が出ております。然るにそういう場面において私もその結果を十分踏まえて対応してまいりたいと考えております。



道上 義治 議員

旧三原町における公費不正支出について

問 町政功労者表彰記念品料及び退職者記念品料については島田、沖、阿部の三名の議員さんにより質問がありました。私は支出につきましても自治法の二百四条の二に違反していることを先に申し上げます。

問 特別職表彰対象二名の内一名が市長であったが、受け取らなかった、間違いございませんか？

答 支出しておりますが、私が受け取りを拒否したので町として法務局に供託したことです。

問 どういう理由で拒否されたのか。 **答** 私は公僕として仕事を全うしてきたものであるし自身が自分から受け取る私としてはとてもそういう心境でなかったのが拒否いたしました。

問 旧町長が拒否し助役が受け取られた、同じ公僕でも考え方が違うと思うが。 **答** 助役さんについてはどういう心境であったか図るべきもございません。

地場産業瓦の行政支援について

問 淡路では、いぶし瓦の生産では日本一ですが、市長の意図する地場産業

日本一構想とはどういうものか？ **答** 生産量なり金額も大事であるが地域全体が行政一体的になって地場産業の振興に力を入れる。次に向かつての夢、希望を日本一に結びつける。 **問** 瓦専用職員の設置について。 **答** どの部署に置くかを業界の人達と十分協議してから取り組みたい。

問 公的支援制度の継続について **答** 街並み条例等の関係もありますが、全市的に地元の瓦を使う場合は、支援をしていたような施策を可能ならば積極的に広げていきたい。

市長の政治信条を問う

問 市長が運営方針を間違えれば、市民が困る、困るところか、オーバー

に言えば市民の生死にかかわる、競争に敗れた陣営が、新市長の足を引っ張るケースが全国的に多いと聞く、公約実行に向け、全力を打ち込む覚悟はあるか？ **答** 私自身、全身全霊をかけ、市民に夢と希望のもてる政治施策に打ち込みたい。

問 市長は優柔不断、四年間何も出来んとの声もある、一番に倫理条例は必ず作るのか？ **答** 三役の倫理条例は早急に取り組み決意です。

問 新市は旧四町の寄り合い世帯、意思統一が必要、そのため、市長、議員、職員の研修が早急に必要でないか？ **答** 方向として当然、そういう形が必要と考える。

農業問題について

問 老朽化した土が、元の地力を取り戻す活性培土に出会い驚く成果があった。県農業技術センター、農協、市役所、三者一体農業改革をやらなければならないと思う。 **答** 私

は、農業に精通している。関係機関の施策を的確に受け止め、地域農業の発展振興に努力する。

問 農業後継者対策は？ **答** 以前、旧三原町で、農業の婦人大学を設け、勉強会をして成果を観た。そういう方向で後継者づくりを考えたい。

教育問題について

問 色々問題が起きていく、魂の教育が必要でないか？ **答** 家庭や地域

で子供の魂を育てる土壌が大切だ。



中村 一男 議員

問 市長選挙前に「保育料、第二子より無料にします」というマニフェストが書かれた新聞折込広告が入ったが、これは同一世帯で二人以上入所する

場合の二人目が無料なのか、たとえ上の子が小学校へ上がったも、その家庭の第二子より無料なのか、どちらのつもりで公約されたのかですか？ **答** 少子高齢化が進む中で、何とか保護者の軽減を図りたい。既に、旧緑町では同時保育の二人目は全部無料にしています。私自身はそういう施策は是非復活したいという思いがあつてそういう表現をしました。

問 広告だけで見ると、第二子つまり我が家の二人目から無料、上の子が小学校に上がったも二人目からは無料と解釈する人がほとんどだと思いますが、それからという公約違反ではないでしょうか？ **答** 保護者のアンケート調査の結果を見ても経済的な問題が一番でした。できるだけ早い機会に完全二子以降無料化に取り組みたいと思っています。

問 保育料第二子無料で子供が増えるとは思えないが、私個人としては保育料二人目以降無料は大いに賛成です。しかし財政難の中、結局どこかにしわ寄せがいつて、住民にとって有難かつたのか迷惑だったのかということにならないようにしていただきたい。



江本 一成 議員

福祉問題・保育料第二子より無料について

問 保育料二子より無料と選挙期間中にチラシ等に出しております。市長は必ず実行するお任せ下さい、一〇〇%実現さす。この事を聞いた見たりした、特に幼児を持つ若いお母さん方は大変結構な話だと思えます。

元合併協議会長としてお尋ねします、保育料に関して協定書の項目に挙がっている保育料の基準額は国の基準額及び四町の基準額を書き上げ、同一世帯で二人以上入所する場合の軽減は保育料の最も高い児童（第二階層から第四階層は最も低い児童）は基準額のとおりとし、次に高い児童（二階層から四階層は次に低い児童）は十分の三、それ以外の児童は十分の一の額を決めて十五年九月三日の第十七回協議会資料掲載された、第六十六号各種福祉制度の取り扱いその二という事に間違いございませんか？ **答** 今お話あつたとおりです。

問 私は合併協議会の中で四十何項目を決めた中で簡単に無視できるのかお聞きします。 **答** 私は、当然合併協の決めたことは尊重していくべきと思つており、この決め事がされた後、少子化が非常に極端に進んでおり、この対策は南あわじ市にとっては一番大きな課題であると認識し、この思いが非常に強く現実に行きたいと表現しました。

数字的には、議員と私のつかんだ資料と一緒ですが、当然ながら南あわじ市が負担増になる四月から実施をするに向け皆さん方にお願ひし、是非ご理解を賜りたいと思つております。



松本 静雄 議員

福祉について



根津 歡男 議員

福祉施策について

問 福祉タクシーの導入方法は？

答 高齢者・障害者等の方の為にある外出支援タクシー事業であり、旧三原町の福祉タクシーと同じです。この制度は既にスタートをしております。

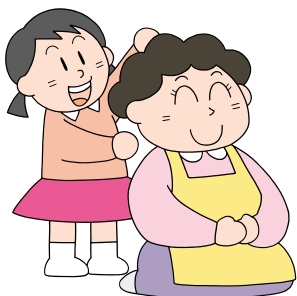
問 外出支援タクシーの年間予算は？

答 十七年度、二千四百万円の計上です。

問 一時保育、〇歳児保育、延長保育、休日保育はどう考えているのか？

答 一時保育は現在、志知保育所、ちどり保育所の実施で、一カ月平均八十人の利用でございます。延長保育は、十七年度より旧緑町の保育ニーズに合わせて午後六時まで全てサービスマン延長保育の実施をする。〇歳児生後十ヵ月よりの受け入れで、四保育所の実施で、各十人体制の予定と考えている。

休日保育は保護者のニーズを見極め、体制を整えた上で特定の保育所で実施の方向で検討してまいります。



三原 賀代子 議員

第二子保育料は……？

問 第二子同時保育の場合一千六百四十七万六千位と言われたが、二子全員無料ではいくらかかるのか？

答 南あわじ全体で一億五千万位かかります。

問 経済が許すならすぐにも賛成だが、これら全部老人世帯、事情のある家庭等にまで重く負担がかかるのではと不安です。その点、どう考えているのか？

答 他の福祉関係と十分精査し可能であれば早い時期に完全無料化にしたい。

問 子供はある程度までしっかり抱きしめて育てるべきと思うので、一人生まれたら小学三年位まで児童手当的なものを公的な機関に訴えるべきと思う、少子化の歯止めも望めるのでは？

答 現実の話、健全な育成につながるし、そうなければいいなと思います。

問 少子化に歯止めをかけるべき出会のある催しも施策の中にお願いします。

高速道路値下げ案は……？

問 淡路島全体橋桁存在ではと心の痛む思いですが、公約の三分の一値下げ案をどのような方法で実行しようと考えているのか？

答 私はそういう取り組みをしたいと言うことで必ずしも三分の一に出来るとかいう、そんな思いはございません。現実大型車の一般国道に入ってくる為、騒音だけでなく交通事故等も多発しているのが交通安全協議会の中で料金の問題もあるから何処までいけるか分らないが私自身も音頭をとりいろんな処・機関に働きかけて行きたいと思う。

問 私達も協力を致します是非実行に向けて努力をお願いします。



寺馬 栄一 議員

少子化対策にどう取り組むか？

問 深刻な少子化問題をどのように認識しているか？

答 将来見据えた少子化は早急に取り組む重要な課題、その背景には晩婚化、非婚化など夫婦の出生力の低下が大きな加速の一つである。少子化社会のニーズ調査を実施し次世代育成支援計画を策定している。

問 結婚出産祝い金制度の充実、二子からの保育料無料化など子育て支援の実施はいつ？

答 結婚祝い金検討する。出産祝い金は条例もあるが制度の充実は今後の課題、保育料無料化は二子同時に通わせる一子目を十七年四月から無料で実施、二子目以降の無料化は将来的にやる。

問 夫婦が安心して働ける学童保育を徹底すべきだ。

答 小学校区で十名以上のニーズがあり場所と保育士等の条件整備が整った所から早急に実施する。

問 虐待・凶悪事件が多い少子化時代を踏まえ、学校のあり方など原点から見直し義務教育の必要性をどう進める方針か？

答 次世代の人材を育てる学校教育や社会教育を柱とし、人間性豊かな学力、徳力、体力の基礎づくりに努める。また命を大切にして心の成長を図る道徳教育、生徒指導も充実させる。さらに子供の将来を見通した堅実な家庭教育と行政の一体化に具体的な取り組みを考えていく。

問 少子化の危機感は市民に十分周知されていない。

問 マニフェストを作成し住民と一体で取り組む考えはあるか？

答 子供達の笑顔あふれるまちを目指し、住民参画と共同で次世代の育成支援サービスマップを作成、関係者に配布する。

「みどりネット」廃止か 光ファイバーを民間で

問 市民向け
無線LAN
「みどりネット」

「を今後どうするのか。市内の大部分で光ファイバーが利用できるが、企業誘致や市民生活への影響が心配されるが、どのように通信事業者を誘致し整備するのか？」
答 ミドリネットは、廃止も視野に入れた判断になるかと思う。光ファイバーの誘致は、基本的には、民間主導で整備すべきと考えています。

検討委員会設置と 光ケーブルテレビの整備

問 早く早く整備が終わっている

先進事例のように、民間で整備するのか、それとも直営で何年もかけ整備するのか、島内では、淡路市で既に民間の光ケーブルテレビが整備されている。市民や専門家を交えた検討委員会を早急に設置し検討するべきではないか？

答 調査中につき、決定的、確定的なものはありません。地上デジタル放送の対応も当然考えていく必要があります。

一日も早い 倭文市営住宅建設を

問 旧緑町では、平成十五年に用地を整備し、平成十

六年に建設予定でしたが、造成した土地も今は遊んでおり、公費の無駄使いになっている。建設予定地での市営住宅をどう考えているのか。倭文地区民は一日も早い市営住宅建設を望みます。

答 十七年度には事業採択の予定。当然十七年度で事業実施の運びとなると思います。



木曾 弘美 議員

保育事業の拡充は

問 保育料の第二子以下無料をいつ実施するのか？

答 同時在園の場合、この四月から実施する。市長の公約には「同時在園の場合」という条件はついていない。第二子以下を完全に無料化した場合の費用は一億五千万円というが、南あわじ市の予算二百五十億円として、わずか〇六％である。完全実施の時期を明確にすべきだ。

問 第二子以下完全無料化が可能か、前向きに取り組む。

答 一時保育、〇歳児保育、延長保育、休日保育の計画はどうなっているのか。保育施設の増設や保育士の増員が必要だが、その計画はあるのか？

答 ニーズを把握し、中身を精査して取り組む。



福祉バスの計画は

問 福祉バスの具体的な計画と実施時期は？

答 十七年度中の実施を目指して企画部で検討中。旧三原町をベースに二コース。有料が無料か。少なくとも六十五歳以上の高齢者や身障者は無料にしては？

答 料金は市長の考えいかんだ。では市長の考えは？

答 ルートや地域性を考えて進めている段階である。大型二種免許を持った退職者を活用した日本一の福祉バスのまちを目指せ。



坂本 浩子 議員

街なみ景観について

問 新市のまちづくりに関しては、

国で法案化された景観法があり、特色のあるまちづくりに対して、景観法の計画制度の創設と旧西淡・南淡町で制度化されており、実績、効果を上げた豊町並み奨励制度という制定に対してどのように考えているのか？

答 十七年度の予算編成に合わせて制度を実施していきたい。瓦産業に関しては、新市の産業の一翼を担う業界です。公的な支援も考えておるとい強いお言葉ですが、今の心境をお聞きしたい。

答 旧の西淡・南淡町で取り組んでいた事業等は継承していく所存です。景観・地場産業の問題、全市のそういう制度を広げていきたい。四月から瓦と観光に精通した職員を考えている。

低地帯の排水について

問 台風二十三号の集中豪雨に

より多岐広範囲で大被害が発生したが、市全体の公共、土木、農災等の被害総額は？

答 被害件数が九百九十件で二十六億三千七百万円です。

問 完全復旧への努力をお願いします。

答 低地帯の排水問題でお聞きする。住民が安全・安心して生活できる生活環境と、新市の産業の基軸をなす農業に対しては、公的な整備をされたが低地帯の冠水問題の解決は手付かずのままです。この問題の見解をお聞きしたい。

答 低水対策地域が非常に数多く、特に三原川水系等においては、外水、内水が流入し、冠水した。基本計画を策定し、河川の整備計画、十七年度中に県と地元と行政等を含めた中で検討委員会を立ち上げると聞いています。



楠 和廣 議員



砂田 泉洋 議員

子供に 防犯ブザーを

問 旧三原町の時に、私が要請した、児童・生徒を犯罪から守るといふ、事案が採択され、三原校区の児童・生徒全員に防犯ブザーが配布されていますが、他の校区の多くの保護者より、私たちの子供にも、是非防犯ブザーの貸与をお願いしたいとの要望が来ています。緑・西淡・南淡校区の子供たちに対し、早期に防犯ブザーの貸与をお願い致します。

答 平成十七年度予算で緑・西淡・南淡校区のすべての児童生徒に防犯ブザーの配布を致します。

学校のクラス編成について

問 十七年度、御原中学校の新年生は八十名

で規定上二クラスではありますが、一クラス四十名では、生徒・教師にかかる負担は非常に大きく勉強や生徒指導に大きな支障が出る事が予測されます。子供は国の宝と申します。私の持論ではあります。子供は国に金を惜しむな」であり、他の学校にも同様のケースがあると思えますので、市長の英断をお願いします。

答 辰美小学校統合により、教師の過員が生じていますので、御原中学校への教師の加配が認定されれば三クラスは実現可能であります。



吉田 良子 議員

学童保育、高校生 通学助成、福祉タ クシーの実施を

問 学童保育は広田、北阿万で実施していますが、全小学校区で実施すべきではないかまた、土曜日にも実施すべきだがどうか、利用料は島内市町と比べてどうか、高いのではないかと。各小学校区で調査し十名以上の希望があり、場所と指導教員の確保ができれば検討していきたい、利用者者の人数が多ければ検討していきたい、南あわじ市は五千円、淡路市は三千円、洲本市は無料、五色町は無料または保険代で少し見直しがあってもいいのと感じている。

問 高校生の通学助成の助成額はどうか、また淡路高校、洲本市内の高校についてはどうか、さらに三原、志知高校統合による学級減にならないよう県に働きかけるべきではないか？

答 島内では淡路高校に行く場合は三割補助をする、洲本市内は対象外、県に働きかけていく。

問 福祉タクシーをキ口数でなく旧三原町のように町内三百円、町外七百円と分け利用しやすい制度にすべきではないか、また寝たきり予防のために百世帯に一人の保健補助員の設置についてどうか？

答 旧三原町は安いようですが、南あわじ市は距離数が伸びる、旧緑町で実施していた健康づくり推進班を南あわじ市に広げていきたい。



川上 命 議員

農村地域の 現状と課題

問 人口の減少、高齢化、担い手、農業地対策経営、所得安定対策、農業環境、地域資源保全対策、農業生産の基盤、生活環境の整備、福祉の向上、農村の振興、基本理念として行政展開をする事が大切である。

過疎・高齢化について

問 高齢者の役割を明確にし生涯現役で

元気に活躍できるような支援と高齢者福祉の充実は？

答 高齢者に豊かな経験を生かせる就業の場を提供するシルバー人材センターへの支援を高齢者学習生・健康作り、友愛訪問等のボランティア活動を行う。地域福祉のニーズに的確な対応と、老人福祉介護保険計画の施策を展開している。

生活環境整備の立ち遅れ、 **答** 生活排水処理は計画的な生活インフラの整備 二十五処理区で、内農村地域における計画的なインフラ整備の中に農業集落排水事業があり、五処理区は供用開始しており、志知処理区は建設中で十七年度中の供用開始を目指している。

地域周辺環境に配慮した定住環境を確保する為に計画的なインフラ整備を積極的に推進する。

安定的な就業機会の不足について

問 安心、安全の食の供給、地産地消を

目標に農林水産物にいかにか付加価値を付けるか、産業によつて地域の活性化を図っていくか今後の行政のあり方は？

答 担い手農業なり集落農業を始めています。

答 付加価値をつける農業にしていけないと、これからは汗をかいた部分の収益と言ふのは得られなくなる、南あわじ市農業は盛んであるし、高齢化の中で技術を持った人達が本場に今付加価値をつけられるような作物の手法を行政と関係機関共に連携を持って進めていきたい。農業についても私は強い思いを持っていきます。これからも政策の中で生かしていきたい。

「公共施設に自動体外式除細動器『AED』を早急に設置すべき！」

問 広域消防救急車で現在装備しているのはどこですか？

答 洲本本部、南淡分署、岩屋分署、津名一宮分署、五色出張所、の五箇所

問 公共施設、学校、体育施設等に、速やかに設置を望むが市長どうしますか？

答 安心して、十分任せる講習して、まず旧町の保健センターに一台づつ置く。

「福祉タクシーについて用途拡大を」

問 外出支援サービス事業にプラス、全七十五歳以上写真入チケットを配布し、月に四回使えるようにしてはどうか？

答 外出支援サービス事業において、用途を拡大実施する方向で、要綱を制定しております。

「コミュニティバス『巡回バス』について」

問 どのあたりをコースに考えていますか？

答 一つは陸の湊起点に、西淡の方へ行つて、榎列、八木、市交差点を回る東半分、二つ目は、陸の湊起点に賀集から神代、市への西半分の二ルートを考えている。

問 明石のたこバスは、百円コースですがルートごとの、料金はいくらか？

答 西淡のせいと君というバスに合わせて二百円を考えている。

問 西淡の学童バスの、空き時間利用して、巡回バスに転用できないか？

答 委託か、市営になるか検討中、学童バスは今考えていない。



武田 昌起 議員

児童・生徒の発達障害(A・D・H・D)・学習障害(L・D)の現状と対策を問う

問 脳機能の障害を原因として主に幼児期や学齢期にあらわれる多動や衝動性を特徴とする発達障害及び学習障害の児童・生徒は文部科学省の調査で二十七人に一人の割合で発現しているとの報告があります。当市では就学前と以降に分けて何人ぐらいいるか、また障害に対して、どのように認識し対処しているか？

答 普段は正常だが何かのきっかけで異常が現れるなど判断が非常に難しく、人権上の問題もあり調査がしにくい状況です。現在二十一名の要観察児童がいます対処として、三原健康福祉事務所が行っている、コアラ教室で母子とともに保健師、心理相談員など専門家が育児を支援しております。
問 現在、学校の方ではこのA・D・H・D(発達障害) L・D(学習障害)に該当する確定的な数値は持ち合わせておりませんか。昨年九月に教育相談で自閉症ではないかと心配された保護者が六人いました。

問 四月一日から施行される発達障害者支援法には地方公共団体にも責務として発達障害の早期発見や支援などについて必要な措置を講じるよう示されています。今後の見解を伺います。

答 法の施行とともに地方公共団体の取り組みも具体性を持った形で出てくると思いますが、県教委の見解からすると十八年度以降になるのではと思われれます。



大住 逸朗 議員

生命と財産を守る防潮堤を!!

問 自治体の長としてどうあるべきか、本質の意義をお聞き致します。

答 住民福祉向上なり、公僕としての位置付けを基本として地域住民が安全安心出来る。

問 執行権者としての責任が抜けている、自己責任については？

答 自治体は住民と共に歩み、住民と共に夢を語り、そして希望に向かって進む。

問 市長のテーマは？

答 優しさの感じられる、地域・街、そして公平・公正・福祉向上。

問 残念、折込に私のテーマは「防災と活力、災害に強い街づくり」こう言う答えが返ってくると思つた。市長は東南海・南海地震の知識は？

答 間もなく南海東南海地震、ひよつとすれば三十年内に結構な確立で、五十年以内とか。

問 家が潰れて避難道を潰す可能性が有り、緊急の場合は鉄筋の三階のとこへ逃げたらよい、私は一番欲しいのは防潮堤です。家も財産も何もかも無くして生きて行けますか？

答 そういう地域に住む人でしか分からない不安それが今、防潮堤がすぐ対応出来るか、何処まで可能か。

問 災害基本法第四十二条に市町村防災会議を設置及び地域防災計画は何時創る？

答 津波を織り込んで十七年度中に。

問 行政のする仕事ですね、災害は待つてくれませんかよ！



長船 吉博 議員



野口健一郎 議員

政治倫理条例の制定について

問 旧三原町では、昨年十月に条例制定を行った市四役及び議員を対象に条例制定を早急にする必要があるのではないかと？ **答** 条例制定については、町の段階で考えたかどうかと首長の中で話が出ました。南淡町議会は平成十三年に制定しておりますので、市の四役は議員以上であるとの認識のもと考えようとの話はありましたが、三原町だけ四役と議員を含め制定しました。 **問** 南淡町は議員、三原町は四役と議員、他町に声を掛けてもそろわなかったのは何か理由があったと解釈しますが、新市において制定するのか？ **答** 他の市の条例も参考にし、案ができたなら事前に議員に提示し可能な限り早く提案していきたいと考えております。

入札制度のあり方について

問 旧町時代に公共工事の受注があまりにも偏りすぎているのではというチラシを見ましたが、一般常識を超えるのはどうかと思つ。今後どういう制度で金額面、事業面を考えているのか？ **答** 近年大きな下水道工事の発注が多くあり、結果的に偏ったのではないかと考えております。 **答** 入札については、事業の種類、金額等により入札に入れる業者はランク付けされております。ややもすると偏った業者に金額が偏ってしまうことは否めないと思います。今後は、事業を十分精査し地域の業者が自分にあつた仕事を受注できるように金額設定を行い自分が汗したただけ自分に残るといふような制度にしたい。



長船 茂久 議員

中田市長の政治姿勢を問う!!

何故市政方針がないのか

問 三月議会で五万五千市民が期待していたが。 **答** 住民本位の立場で物事を考えて行きたい。財源を確保するのが今大事な課題です。 **問** 残念に思う、議員や町長の経験があり公約は時期や財源を明確にし公表するものです。施政方針が発表できないのは、当選後公約が後退し旧三原町で違法な支出で監査請求が出され、これらの対応で出来なかったのでは？ **答** 今お話のあつた要件はほとんどありません。

福祉の後退許さず

問 介護予防の外出支援と福祉タクシーで、旧三原町の福祉タクシーを廃止し外出支援に一本化し料金も四倍に値上げしているが。 **答** 利用者にはすばいとは思わない、こういう制度を基本にして、見通して全的に考えたい。

介護保険料値上げ反対

問 介護保険料が値上がりし、旧二町の方が値下げになります。値上げなくせ。 **答** 多少上がると、下がるところがありますが何とか保険者の方々も理解していただけたらと思います。 **問** 福祉を充実し住みよい南あわじ市を目指す市長の公約に反する、一層の努力を強く要望する。

市長の政治姿勢を問う!!

問 四人の議員から旧三原町の違法支出について明確な答がない違反しているかどうか？ **答** 住民監査も出ておりますので。 **問** 住民監査の結果、黒と出れば市長の考えは？ **答** 結果を見て真摯に受け止めたい。



仲野 享 議員

台風二十三号の大水による大日川・山路川・馬乗捨川堤防の中期見解を聞きたい

問 私の質問は、旧三原町議会で何度も発言させていたでいており、三原川水系も毎年のように氾濫、決壊を繰り返して台風二十三号の大雨により、旧西淡町はもとより、旧三原、三河川周辺の被害も甚大で有り、被害資料でも堤防崩壊十一カ所、床上浸水四十五戸、床上浸水六十戸余り、又農作物及び農地の被害も甚大でありました。この三河川の本格復旧工事はいつ頃と承知しているのか？ **答** 三年で災害復旧を終え、十七年度の工事執行になり、張ブロック工法となります。 **問** 河床土砂の浚渫工事を早急に実施して頂きたい。 **答** 県に対し早急に浚渫する様言っております。 **問** 淡路最大の南あわじ市誕生で有り、洲本市同様県に対し強い姿勢で中長期的な河川改修並びに、全面張ブロック補強を要望して頂く事を中田市長に強く要望致します。 **答** 今後抜本的な復旧及び河川事業を県河川局長に強く要望してまいります。 **問** 河川流域の市民は、最近の異常な大水により生命、財産が脅かされており、安全安心が生活の基本であります。市も今後ともこの問題に全力で取り組んで頂きたいと思ひます。

野菜残渣処理施設の建設について

問 市の環境改善、山間地、河川への不法投棄の防止、悪臭、病原菌飛散防止策として農協、商協、農家住民も早期実現を待っております。新市のイメージアップ又観光産業にも大きく貢献するものと思ひます。事業母体と建設候補地は決まっているのか？ **答** 十八年度に事業計画しており、農協、商協が母体で、設置場所は旧緑、西淡、三原で各一カ所、南淡二カ所です。炭化プラントになりランニングコストは、一千万五千円程度です。 **問** 農家の処理費について補助金を出せないか？ **答** 市から若干の補助を考えております。 **問** ブランド野菜産地の維持発展の為、利便性の良い料金、場所設定と早期の事業展開をお願いしたい。

京都議定書の 取り組みについて

問 京都議定書が二月十六日に発行され、温室効果ガス削減の国際的な取り組みが決められました。南あわじ市として、どのように取り組みられるか？

答 二十一世紀は環境の時代、南あわじ市においても、旧各町より新エネルギービジョンを策定しており、風力発電のフィールドテストを実施しております。また太陽光発電の設置につきましても、家庭で設置した場合、補助金の支援もしております。また公共施設においても導入しております。当然新市建設計画におきましても基本的な目標として、自ら自然を守り、そして恵を受ける環境共生型の都市を目指すことと明記しておりますので、今ご指摘のあったとおり、京都議定書の理念に基づいて市として取り組みをしていかなければと考えております。

問 コミュニティバスに廃食用油による軽油化(BDOF)によって燃料として地球温暖化の啓発の広告塔として運行出来ないか？

答 廃食用油の問題でございますが、南あわじ市では廃油の回収方法が出来ておりません。しかし、それを絡めた中で、廃食用油の利活用が地球温暖化の防止につながるという、住民の理解を得ながら進めたいと思っておりますが、担当課と打合せをしながら可能であれば進めていく問題であろうと思っております。



中嶋 良一 議員

南あわじ市全域に 学童保育を!!

問 旧町単位で学童保育所の開所は？

答 各小学校区毎にやりたいので、ニーズ調査をしている。補助は県が十名以上で、国が二十名以上である。

問 場所とか、指導員については？

答 場所は、公共施設、自治会館、保育園、学校などの空き教室を利用したい。

問 希望者が十名以内でも開所する考えは？

答 県の補助が、概ね十名程度でもらえるので、概ねという解釈で考えている。

問 少人数の場合、ボランティアに依頼するのは？

答 今倭文地域でNPOで立ち上げて設立に向けて準備をしている。

問 利用料五千円をもう少し低くできないか？

答 おやつ代一日五百円で二十二日として三千円で他に諸雑費も要るので、実質二千円程度の負担である。

問 土曜日の開所は？

答 実施要綱では、開所するようにしていない。

問 少子化対策として、市長の考えは？

答 少子化の傾向は続くと思うので、重要施策として取り入れていきたい。



澤田とよ子 議員

問 保護者が安心して昼間働きに出られるように



「公金問題の質疑の件」

問 二日間、金問題について執行部の応答に納得がいかない。旧三原町公助役は南淡町教育長八年で去る時に功労金はどうか？

答 頂いていない。

問 職員を四十年で百三十五万円支給とは、三者談合の体質である。出席の説明員は、議長どういふ法律により招集しているか？

答 自治法第二百一十一条

問 法律に基づき議会は開くが、自治法に触れるとの議員の質問に市長は五月雨的に回答が変わった。新聞全紙が違法との報道。

答 私の立場でお答えは厳しい状況である。

問 供託書はあるか？

答 確認した。

後援会入会礼状の件

問 私の所に選挙入会有難う」中田勝久と書いてあったが、入会した覚えがないが、市長はこの件については？

答 私は一〇〇%その中身は承知してないが、そんな話は聞いておりません。

問 旧南淡の多くの議員、住民にも選挙の判断？

答 投票依頼の内容でなく、後援会活動で行われたと解している。

「旧南淡町で個人演説会が 開催できなかった理由」

問 市長、旧南淡町で個人演説会不開催の理由は？

答 今回の選挙のことは、一日も早く忘れない。

問 南淡公民館は妨害があったと聞いたが、期日前投票所である。他にも数々の施設があり、旧南淡に思いがなかったのではないか？

答 ……



榎本 喜一 議員

新しい市になつて

山川 典恵 (賀集小学校三年)

声

一月に新しい市「南あわじ市」ができました。わたしは小学生なので、どんなふうにかわったのかよくわかりません。でも、いいなあと思うことがあります。図書館のことです。今までだと、南淡町の図書館しか行けなかったけど、新しい市になったので、ほかの図書館にも行けます。いろんな本が読めるのでうれし

新生南あわじ市への想い

松下 隼也 (松帆小学校六年)

声

ぼくが、カブスカウトに入ったきっかけは、お母さんが入隊案内書を持ってきてくれて、キャンプができると思い、三年生の時に入隊しました。カブスカウトの活動では、いろいろなことがありまして、

例えば、「東京社会見学」「愛のモチつき大会」「雪まつり」「カントリー大作戦」「北海道での交流会」「平和を願う兵庫県踏破」などいろいろなことがあります。

心に残った中の「北海道での交流会」では、乗馬クラブのみなさんと交流会をして遠い所に友達がいっぱい出来た事がよかったです。「カントリー大作戦」では、カブスカウトで慶野松原のそうじをしたけど台風二十三号の被害でまたよごれてしまったのがショックでした。「雪まつり」では、店を

私たちのまち

柏木 美和 (北阿万小学校四年)

声

一月十一日、四つの町がいつしよになって「南あわじ市」がたん生しました。私は友だちがたくさんふえるような気がして、うきうきします。

四つのよいところをあつめれば、今までいじょうによいまちができるとおもいます。とても楽しみです。

南あわじ市は、花や緑にかこまれて、自ぜんや生き物がいっぱいのもちになつてほしいです。

人が花をみてやさしい気持ちになつたり、おとづれた人が来てよかつたと思つてくれるようなまちです。

それに、私たちのまちで、げきやミュージカルが見れたり、コンサートがひらかれたり、映画が見られたらとてもうれしいです。

南あわじ市のみなんで力を合わせて、小さな子どももお年よりもだれもが明るい気持ちで、安心してすごせるまちにしていきたいです。えがおがいっぱいの南あわじ市がすてきです。

お知らせ

市議会では、本議会及び委員会(特別委員会含む)の日程をホームページの議会欄に掲載をいたしております。またインターネットによりパソコン及び各分庁舎のテレビで観ることが出来ます。

- 中央庁舎 一階ロビー
- 緑庁舎 一階ロビー
- 市民センター 一階ロビー
- 西淡庁舎 一階ロビー
- 西淡第二庁舎 一階
- 三原庁舎 一階ロビー
- 三原公民館 一階ロビー
- 南淡庁舎 一階ロビー
- 南淡公民館 二階ロビー

※日程などのお問合せは議会事務局へ
電話 431-5005

編集後記

三月定例議会は盛りだくさんの内容になりました。

一般質問も二十五人に及び議案も八十近く出され人件も多数出ました。これらを十六ページに納めるのが大変な苦労を伴います。出来る限りすべてをお伝えしたいのですが、ある程度カットしなければならなくなり、申し訳なく思っております。判り易くコンパクトな編集に、取り組んで参ります。(武田昌起)